

# お店と消費者をつなぐ！ワケルくんもったいないマルシェ

簡単登録！お得に買い物をして、無駄をなくそう



事前登録・出品



マッチング  
お店で直接支払い・商品受け取り



利用者  
利用登録・商品を予約

## 登録しているお店の方にお話を伺いました



「デーデのパン」の梶原広行さん・梶原由紀江さんご夫妻

パンなので当日売り切らないと廃棄しなければならず、もったいないという気持ちがありました。この取り組みを知ってすぐ登録し、菓子パンなどを出品しています。サイトを見て初めて買いに来てくださるお客さんも増えました。食品ロスも減り、お店にとっても、購入する人にとっても良いサービスだと思うので、これからもっと広がってほしいです！

## 事業者・利用者の登録受け付け中！

### 事業者

- 食品販売を行う市内のお店が参加可能
- 賞味・消費期限が近い等の理由で、早めに売り切りたいものを出品

### 利用者

- パソコンやスマートフォンから専用サイトに登録することで利用可能

※どちらも登録料・利用料無料

登録方法や利用規約など詳しくは市ホームページをご覧ください、お問い合わせください



## 家庭でできる食品ロスを減らす工夫！

生活の中でできることから、始めてみよう！

### 1 買いすぎない！

買い物の前には冷蔵庫の中身をチェックし、なるべく必要な量だけ購入しましょう。また、棚の手前から買うことでお店からの食品ロス削減につながります。



### 2 作りすぎない！

家族の予定や体調などを考え、「適量調理」を心掛けましょう。



### 3 食べ残さない！

作った料理は、おいしいうちに食べきりましょう。外食の際は、食べきれぬ量だけ注文しましょう。



見える化で削減—せんだい食品ロス・ダイアリーをつけてみよう！

食品ロスを減らすためには、必要な分だけ、食材を買ったり調理したりすることが大切です。自宅で「手つかず食品」や「食べ残し」として捨てた食品を記録し、食品ロスを見える化してみよう。



4週間続けて週ごとに比較してみましょう。

※「モッタイナイキッチン」や「フードドライブ」など、その他の取り組みについては、仙台市ごみ減量・リサイクル情報総合サイト ワケルネット (<https://www.gomi100.com>) をご覧ください、お問い合わせください

**家庭からの食品ロスを減らすために**

本来まだ食べることができたはずの食品が廃棄されてしまう「食品ロス」。日本では、年間522万トン（令和2年度推計値）の食品ロスが発生しており、これは国民1人当たり1日約113グラム、お茶わん約一杯分のごはんが捨てられていることとなります。食品ロスは、食料資源が有効に活用されないだけでなく、生ごみとして焼却する際に二酸化炭素を排出し、環境にも深刻な影響を及ぼします。

市が令和3年度に実施した調査では、家庭から出る生ごみに占める食品ロスの割合は20・5パーセントで、その量は約1・1万トンになりました。市では「一般廃棄物処理基本計画」において、令和12年度までに、家庭から出る食品ロスを9千トンまで減らすことを目指しています。

この達成に向け、市では食材を無駄なく使い切るレシピ等を紹介する「モッタイナイキッチン」や、家庭で利用しきれない食品を集め「フードバンク」などに寄付する「フードドライブ」を実施。さらに、家庭で廃棄した食品を記録し、見える化することで意識付けを図る「せんだい食品ロス・ダイアリー」

「せんだい食品ロス・ダイアリー」など、家庭の中から食品ロス削減を実践できるよう、さまざまな取り組みを進めてきました。

**事業者の取り組みも始動**

食品ロス削減には、家庭だけでなく、食料品店や飲食店など、事業者の取り組みも重要です。10月からは、事業者の食品ロス削減を目的に「ワケルくんもったいないマルシェ」を開始しました。これは、食品の廃棄を避けるため、早めに売り切りたい事業者と、お得に買い物したい消費者を結び付けるマッチングサービスで、東北地方では初めての取り組みです。

市内の飲食店などが、消費期限が近いなどの理由で、短期間に売り切りたいお弁当やパンなどの食品をウェブサイトに出品し、消費者が予約、店舗に出向いて購入します。お店にとっては、食品の無駄が減り、売り上げ増加につながるとともに、ウェブサイトを通じてお店のPRも可能。消費者もお得に買い物しながら手軽に食品ロス削減に貢献でき、また、新しいお店を知るきっかけにもなります。

毎日の生活の中で、食を大切にする意識と行動が、食品ロス削減につながります。ライフスタイルに合わせて、できることから始めてみませんか。

この特集に関するお問い合わせ「ワケルくんもったいないマルシェ」事業ごみ減量課 ☎214・8679、FAX214・8356、「せんだい食品ロス・ダイアリー」等 家庭ごみ減量課 ☎214・8229、FAX214・8277